

	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
12月	656	382	465	3	8	1,514	1,256	50	207	116	105	563	3,811
1月	570	439	433	10	5	1,457	1,277	63	185	130	111	544	3,767
累計	8,008	5,074	5,421	104	78	18,685	14,518	512	2,165	1,365	1,259	5,849	44,353

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

📄 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

016.1 国立国会図書館スタッフのドキュメンタリー・奮闘録があれば見たい。

『国立国会図書館月報』に手がかりがないか確認したところ、「国立国会図書館で働いてます」という連載が2020年1月号～12月号に全10回、2021年10月号からはSeason2の連載が継続して掲載あり。毎回国会図書館で働く人1名にインタビューし、仕事内容や現場の声が記述されている。国立国会図書館デジタルコレクションでもインターネット公開され閲覧可能。出版が古い『国立国会図書館月報』の連載コラム「館内スコープ」をまとめた『国立国会図書館のしごと 集める・のこす・創り出す』（国立国会図書館／編著 日外アソシエーツ 1997）も所蔵。児童書『見たい!知りたいたい!図書館はうら側もすごい!』（小田光宏／監修 WAVE 出版 2020）は国会図書館を中心に写真を多く使い図書館のうら側を分かりやすく解説しており、「集める!保存する!国会図書館の仕事」の章で職員の仕事が紹介されている。

210.5 江戸時代の足軽、通称「奴さん」について ①何故奴さんと呼ばれるようになったのか ②奴さんの服装の特徴 ③日本舞踊や俗曲に取り入れられた経緯を知りたい。

①何故奴さんと呼ばれるようになったのか

具体的な記述のある資料は見当たらず。『平凡社大百科事典 14』（平凡社 1985）p.1141「やっこ 奴」の項目に「古代の賤民男性を〈やっこ〉といい、その後人に使役される身分の低い者に用いられ、奴僕、下僕などともいった。」「江戸時代には武家の日常の雑用をしたり、行列の供揃いの先頭で槍や挟箱を持って振り歩く下僕をいった。（後略）」とあることから、下級武士であった足軽を奴と呼んだと推測される。

②奴さんの服装の特徴

『雑兵物語 新版』（かもよしひさ／現代語訳・挿画 パロル舎 2006）と『下級武士足軽の生活 新装増補版』（笹間良彦／著 雄山閣出版 1991）には足軽の服装や持ち物について図と解説あり。『江戸の短刀拵コレクション 改訂版』（井出正信／編著 里文出版 1999）には足軽用の短刀拵の写真あり。

③日本舞踊や俗曲に取り入れられた経緯

『日本大百科全書 23』（小学館 1988）p.184「奴さん」の項目に「寄席や花柳界で流行した舞踏音楽。幕末期、江戸の町を徘徊した願人坊主の芸に、『伊勢音頭』というのがあった。今日の民謡『伊勢音頭』の歌詞に続いて、「奴さんどちら行く」と歌うのである。同時に、踊りも見せていた。この後半部分が独立して座敷化し、さらに「姉さん」や「船頭さん」といった替え歌も生まれた。（後略）」とあり。

318.2 居住する場所を選択する際に参考となる、自治体のサービスや地域の特徴が分かる資料はないか。

『都市データパック』（東洋経済新報社 2021）は、「都道府県別詳細データ」を記載した資料で、都道府県別の面積、気象、人口や事業所数、財政、労働、教育、医療・福祉・環境・安全のデータ、市・特別区・町村別では、これらに加えて子育て関連のデータと順位を見ることができる。また「住みよさランキング」も記載されており、2021年版では全国812市区を対象に、安心度、利便性、快適度、富裕度の4つの視点から20項目を設定し、東洋経済新報社が毎年独自に偏差値を算出し公表している。

「住みよさランキング」は、「東洋経済 ONLINE」(<https://toyokeizai.net/articles/-/434259> 22.2.20 確認)でも最新版(2021年)の内容の一部が掲載紹介されており、総合評価トップ50を見ることができる。

他に『統計から読み解く47都道府県ランキング 消費・子供・スポーツ編』（久保哲朗／著 日東書院本社 2020）を紹介した。

492.4 放射線科医について詳しく知ることができる資料はないか。

『PET検査 痛みのない画像検査で、健康に生きる』（佐藤俊彦／著 保健同人社 2006）p.71に、「放射線科専門医とはどのような専門知識を持った医師ですか」のQ&Aに簡単な説明と「日本医学放射線学会の認定試験に合格しなければならない」とある。認定試験を行っている日本医学放射線学会のホームページ(<http://www.radiology.jp/public/radiation.html> 2022.2.17 確認)を確認したところ、「市民の皆様へ 放射線科の紹介」のページに「放射線科は単純X線写真から最先端画像までの画像診断と画像誘導下で行う局所治療（インターベンシヨナルラジオロジー：1VR）、および放射線を使った侵襲性の少ないがん治療を行う診療科です。画像を扱う画像診断部門と放射線治療部門とから構成されます。」とあり、それぞれの専門医について説明があった。その他に、「専門医制度」のページには、「放射線科専門医」「放射線診断専門医」「放射線治療専門医」の専門医資格の規定も掲載されている。また「若手医師・学生の皆様へ」のページには、放射線診断専門医と放射線治療専門医になるまでのフローチャートもある。

他に『放射線治療医の本音 がん患者2万人と向き合って』（西尾正道／著 日本放送出版協会 2002）という資料と、『医師という生き方』（茨木保／著 ペリかん社 2010）のp.119-139「自己犠牲という生き方 永井隆（放射線科医）」という項目を紹介した。

他にもこんな質問ありました（クイック・レファレンスから）

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など
175.5	鳥居の形式などが載っている本はあるか	⇒ 『鳥居大図鑑』（藤本頼生／編著 グラフィック社 2019）『神社の解剖図鑑[1]』（米澤貴紀／著 エクスナレッジ 2016）
289.1	松竹株式会社の元社長 城戸四郎について書かれた本はあるか	⇒ 『小津も絹代も寅さんも 城戸四郎のキネマの天地』（升本喜年／著 新潮社 2013）『日本映画を創った男 城戸四郎伝』（小林久三／著 新人物往来社 1999）
302.57	ホンジュラスとウルグアイの歴史と経済についての本	⇒ 『ホンジュラスを知るための60章』（明石書店 2014）『ラテンアメリカを知る事典 新版』（平凡社 2013）『最新世界各国要覧 12訂版』（東京書籍 2006）と両大使館・外務省のホームページを紹介。
791.2	村田珠光が書いた「心の文」を見たい	⇒ 『日本思想大系 23 古代中世芸術論』（岩波書店 1973）「珠光心の文(古市播磨法師あて)」所収。解説に弟子に与えた茶湯の心得とあり。
911.30	季語「去年今年」を使った俳句をいくつか見たい	⇒ 『俳句歳時記 合本 第3版』（角川書店 1997）より紹介。